

1 年家庭科シラバス

教科名	家庭科	実施学年	1 年	週時数	1 時間
-----	-----	------	-----	-----	------

1 学習の目標

- ・衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得できる
- ・家庭の機能について、理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくできる（特に衣・住生活・家族の学習を通して）

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	●家庭分野ガイダンス	・小学校の学習をふり返し、3学年間の学習に関心をもち、見通しをたて意欲的に学ぶ。	35時間	ワーク 作品 期末テスト
		●家庭のはたらき	・いろいろな家庭の役割を理解する。		
	5	●わたしたちの成長	・自分たちの成長について、色々な人に聞き、まとめることができる。		
		●幼児の発達を知り、家族の役割や地域とのかわり	・幼児の言動や活動、周囲の大人とのかかわりに注目して観察し、特徴について気づくことができる。		
	6	●幼児との関わり方	・幼児に関心をもち、安全や環境に配慮しながら、おもちゃ製作する。		
	7	●これからの家族関係	・自分の家庭での役割を考え、よりよい家族関係を築こうとする。		
	第2学期	9	●日常着の手入れ		
10		●制服の手入れや補修	・制服のブラシがけやしみ抜き の仕方などを学ぶ。		
11		●生活を豊かにする物をつくる	・ミシンの使い方をふり返る。		
12		●ミシンの基本(直線縫い・カーブ縫い)	・直線縫いとカーブ縫いで基本 タブレットケースを完成できる。		
			・アイロンフェルトによる飾り つけができる。		
第3学期	1	●飾りつけの基本 ・作品の自己評価、相互評価	・アイロンフェルトによる飾り つけができる。		
	2	●1年間のふり返し	・衣生活や住生活を豊かにするた めの製作品を考え、製作計画や方 法について、自分の生活にいかせ るように工夫できる。		
	3		・1年間のふり返しができる。		

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	生活や技術に関する基礎的な事項について理解し、知識を身につけて、制作した作品の技能を学習プリント、定期テスト、授業中の作業内容、自己評価から評価します。	・作品の内容 ・定期テスト ・学習プリント ☆自己評価
思考・判断・表現	課題に対してどのように工夫して解決したか、見通しをもって製作することができたかを作品の内容、家庭での実践、学習プリント、自己評価から評価します。	・作品 ・学習プリント ☆自己評価
主体的に学習に取り組む態度	生活や技術について関心をもち、進んで学習しようとする態度を身につけているか、毎時間の学習に取り組む姿勢を観察や自己評価から評価します。	・学習プリント ・学習の取り組み ☆自己評価

☆印の項目は、授業を欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・長期休業中には、簡単な課題を出す予定です。家庭でできることを増やしてってください。
- ・定期テスト前には教科書とワークをよく確認しましょう。少なくとも、2回は解くようにしてください。
- ・ボタンつけやまつり縫いなど家庭でできることは、自分でやっていきましょう。

5 教材等について

- ・教科書：技術・家庭科 家庭分野（開隆堂出版）
- ・副教材：作品用キルト布・技術家庭科ノート

2年家庭科シラバス

教科名	家庭科	実施学年	2年	週時数	1時間
-----	-----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得できる
- ・家庭の機能について、理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくできる（特に食の学習を通して）

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価	
第1学期	4	●健康と食生活 ・食事について ・生活のリズムと食事	・自分の食生活を見直す。 ・食事の役割と健康の食事について考える。 ・自分の食生活を記録し、課題を見つける。 ・栄養素のはたらきと食品と栄養素の関係を知る。 ・中学生に必要な栄養と必要な食品群の概量を知る。 ・1日分の献立を立てる。 ・調理室の使い方を知る。	35 時間	ワーク レポート 定期テスト	
	5	・栄養素のはたらきと食品 ・中学生に必要な栄養 ・食事の計画 (食品成分表 p1)				
	6					
	7					
第2学期	9	●食品の選択と保存 ・食品が口に入るまで ・生鮮食品の選び方 ・いろいろな加工食品 ・加工食品の表示	生鮮食品と加工食品の表示と良否の見分け方を知る。 ・生鮮食品と加工食品について新聞のチラシなどで市場調査を行う。 ・身近な食品を選択するために必要な情報を、収集・整理し調理実習に活かす。 ・着色料の観察を通して、添加物の必要性を考えることができる。 ・肉・野菜の調理上の性質を知り、調理ができる。 ・調理室の使い方を知る。 ・調理に必要な手順や時間を考え、調理計画を工夫する。			
	10	・加工食品の選び方 ・保存のしかた ・食品の安全と情報				・魚の調理上の性質を知り、調理ができる。 ・野菜の調理では季節の食材で包丁の使い方を知り、いろいろな切り方ができる。
	11	●調理をしよう ・調理の計画 ・調理の基本				
	12	・魚の調理 ・野菜の調理				

第3学期	1	●地域の食材と食文化 ・地域の食材と郷土料理 ・受け継がれる食文化 ・地域と世界へ目をむけて	・地域の食文化の意義や歴史について理解し、日常食など家庭での調理に生かすことができる。		
	2	●調理をしよう ・調理のまとめ	・簡単な調理ができる。		
	3	●1年間のまとめ	・1年間で振り返ることができる。		

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	課題解決のために必要な基礎的な技術が身についているかを作業内容、技能テストから評価します。基礎的な事項について理解し、知識を身につけているかを学習プリント・定期テスト・授業中の内容・自己評価から評価します。	☆学習プリント ・定期テスト ☆自己評価
思考・判断・表現	課題に対してどのように工夫して解決したか、見通しをもって作業することができたかを調理学習の内容・家庭での実践・学習プリント自己評価で評価します。	・学習プリント ☆自己評価
主体的に学習に取り組む態度	生活や技術について関心をもち、進んで学習しようとする態度を身につけているか、毎時間の学習に取り組む姿勢を観察や自己評価から評価します。	・学習プリント ☆授業中への取り組み ☆自己評価

☆印の項目は、授業を欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・長期休業中には、簡単な課題を出します。家庭でできることを増やしてってください。
- ・定期テスト前には教科書とワークをよく確認しましょう。

5 教材等について

- ・教科書：技術・家庭科 家庭分野（開隆堂出版）
- ・副教材：調理実習・実験の材料、技術家庭科ノート

3年家庭科シラバス

教科名	家庭科	実施学年	3年	週時数	0.5時間
-----	-----	------	----	-----	-------

1 学習の目標

- ・衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得できる
- ・家庭の機能について、理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくできる（特に消費・環境・福祉の学習を通して）

2 学習計画及び評価方法

学習計画及び評価方法					
学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	●家庭生活と消費	・身近な商品を物資とサービスに分類する。 ・筆箱の中身を確認し、適切な商品の選び方をしているか考える。 ・消費生活でのトラブルと解決方法、契約について学ぶ。	15時間	・学習プリント ・作品 ・期末テスト等 ・ふり返りシート
	5	●商品の選択と ・商品購入のプロセス ・生活情報の活用			
	6	・商品の価格			
	7				
第2学期	9	●よりよい消費生活のために ・消費生活のトラブルを防ぐ	・消費者と販売者のロールプレイングを行い、消費者の権利と責任について考える。 ・消費者を支える機関や法律について知る。福祉について考える。		
	10	・消費者の権利と責任			
	11	・消費者を支えるしくみ			
	12	●フェルトポーチづくり			
第3学期	1	●3年間をふり返ろう	・3年間の学習をふり返る。これからの家庭生活を考える。		
	2				
	3				

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	課題解決のために必要な基礎的な技術が身についているかを製作中の作業内容、作品の完成度、学習プリント、自己評価から評価します。基礎的な事項について理解し、知識を身につけているかを学習プリント、定期テスト、授業中の発表内容、自己評価から評価します。	・ 作品の内容 ・ 学習プリント ・ 定期テスト ☆自己評価
思考・判断・表現	課題に対してどのように工夫して解決したか、見通しをもって製作することができたかを作品の内容、家庭での実践、学習プリント、自己評価から評価します。	・ 作品 ・ 学習プリント ☆自己評価
主体的に学習に取り組む態度	生活や技術について関心をもち、進んで学習しようとする態度を身につけているか、毎時間の学習に取り組む姿勢を観察や自己評価から評価します。	・ 学習プリント ・ 授業中への取り組み ☆自己評価

☆印の項目は、授業を欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・ 定期テスト前には教科書とワークをよく確認しましょう。

5 教材等について

- ・ 教科書：技術・家庭科 家庭分野（開隆堂出版）
- ・ 副教材：裁縫キット、技術家庭科ノート